

# 「KROSS×OVERアマチュア大会 -NEXTネクスト-」ルール対比表【一般MMA】

項目	MMA Sクラス		MMA Aクラス		MMA Bクラス	
	ワンマッチ		ワンマッチ		ワンマッチ	
階級	ストロー級 (-52.2kg) / フライ級 (-56.7kg以下) / バンタム級 (-61.2kg以下) / フェザー級 (-65.8kg以下) ライト級 (-70.3kg以下) / ウェルター級 (-77.1kg以下) / ミドル級 (-83.9kg以下)					
試合時間	3分2R		2分2R		90秒2R	
インターバル	1分		1分		30秒	
防具	ヘッドギア	-	ヘッドギア	○ 各自	ヘッドギア	○ 各自
	レガース	-	レガース	○ 各自	レガース	○ 各自
	ニーパッド	-	ニーパッド	○ 各自	ニーパッド	○ 各自
	グローブ	OFG 主催者	グローブ	OFG 主催者	グローブ	OFG 主催者
	ヘッドギア・レガース・ニーパッド・バンテージ・ファウルカップ・マウスピース・試合コスチューム(上半身・下半身共に)は各自用意とする ※ヘッドギアはノーズバー有りは不可とする ※ファウルカップは紐タイプの金属製のみ使用可とする(プラスチック製やサポータータイプは不可となり、試合出場できません) ※MMAルールのレガース(スネパッド)はマジックテープ式は不可とする					
勝敗	■勝敗はKO勝ち、TKO勝ち、判定勝ち、引き分け、失格によって決定する					
	一本勝ち	関節技・締め技による一本勝ち ※タップ、もしくは見込み一本勝ちを含む				
	TKO勝ち	(1)選手が一方向的に優勢の時、試合続行不可能とレフリーが判断した場合。 (2)選手が負傷や出血し、試合続行不可能とレフリーまたは、リングドクターが判断した場合。 (3)セコンドがタオルを投入した場合。 (4)サブミッションによる一本勝ち(見込み一本含む)				
	判定勝ち	(1)KOやTKOで勝敗が決まらず、試合終了後にジャッジ3名の内2票以上を獲得した選手の勝ちとなる。 (2)延長戦がある場合、延長戦のみの試合内容でマスト判定(どちらかに優劣を付ける)とし、勝敗を決する。				
	判定基準	判定基準:1.ダメージ 2.コントロール 3.積極性 ※打撃とグラップリングを総合的に評価する				
	引き分け	判定でもジャッジの2票以上の獲得がない場合。				
注意・減点	反則行為を行った時レフリーは「注意」を与え、注意2回で減点1点となり、減点2点で失格とする。 悪質な反則行為を行った時、即、減点や失格となる場合もある。 ※偶発的な金的攻撃でダウンし、インターバル後に、試合不可能な選手はTKO負けとなる。 ※呼び出しても試合場に現れない場合、失格となる。					
有効技 ※スタン ド状態	パンチでの攻撃 ストレート、フック、アッパー、ボディブロー ※バックブローは有効とする					
	ヒザ蹴りを含む、キックでの攻撃 前蹴り、廻し蹴り、横蹴り、内股への蹴り、飛び蹴り、かかと落とし ※後ろ回り蹴り(バックスピニング)、胴廻し回転蹴り等の回転系の技は有効とする					
バウンド	有り ※グラウンド状態でのパンチ		ボディのみ有り ※グラウンド状態でのパンチ		無し ※グラウンド状態でのパンチ	
ヒール フック	有り		無し		無し	
反則技	反則行為 (1) 頭突き (2) 目潰し (3) 噛み付く (4) 相手に唾を吐く (5) 髪を引っ張る (6) フィッシュフッキング (7) 股間へのあらゆる攻撃 (8) 相手の体の開口部や傷口、裂傷部に指を入れる (9) 小さな関節(手足の指)を巧みに操る攻撃 (small joint manipulation) (10) 肘や前腕部による打撃攻撃 (11) 顔部・顔面への膝による打撃攻撃 (12) 相手に対する踏みつけ(スタンドポジションにおける足の甲への踏みつけを含む) (13) 相手の顔や目に向けて広げた指を向ける行為 (14) 喉へのあらゆる打撃、気管を掴む行為 (15) 皮膚を掴む、つまむ、ひねる (16) グラウンドポジションの選手に対する顔部・顔面への足による打撃攻撃 (17) フェンスや試合場を構成する部位を掴む (18) 相手のコスチュームやグローブを掴む (19) 試合場内で口汚い言葉を吐く (20) 相手の負傷の原因となるようなあらゆる非スポーツマン的行為 (21) ブレイク中の相手への攻撃 (22) レフェリーのチェックを受けている最中の相手への攻撃 (23) ラウンド終了の合図が鳴らされたあとの相手への攻撃 (24) 相手との接触を避けるあらゆる消極的な姿勢(意図的または継続してマウスピースを落としたり、怪我のふりをするなど) (25) 試合場外に相手を投げる (26) 審判員の指示を著しく無視する (27) 相手の頭や首をキャンバスに突き刺す(いわゆるスパイクング) (28) 相手の首や脊椎に著しくストレスを与える行為(いわゆるツイスター、ネッククランク、キャンオープナー等) (29) 競技場の状態により主催者の判断でバスターを反則に規定することができる (30) ヒールフック ※Sルールは有効 (31) 塗布物を塗布する行為 (32) 試合前に審判員によるチェックを受けていないテーピングや競技用具の着用 (33) 審判員に対する虚偽のアピール、言動 (34) 試合用コスチューム、マウスピース、ファウルカップ等の競技用具を破損し、試合続行を不可能にする行為					